

一九五七年

史
林
第四〇卷
総目次

【論説】

大平記と領主層……………	井上良信…一(一)
墨離軍と遼の対西域関係……………	岡崎精郎…一(二一)
漂流記蕃談に関する考察……………	高瀬重雄…一(四五)
中国古銅器における伝世の問題……………	岡田芳三郎…一(五八)
田堵の存在形態……………	村井康彦…二(八九)
記紀系譜の成立過程について……………	笠井俊人…二(一一六)
宋代「談馬顔等国」の位置に関して……………	木村宏…二(一三三)
李大釗の出發……………	里井彦七郎…三(一七七)
江戸時代初頭に於ける教訓仮名抄について……………	今中寛司…三(二一六)
院政と鳥羽離宮……………	村山修一…三(二三二)
初期大和政権の勢力圏……………	小林行雄…四(二六五)
Vornärz における社会主義……………	広実源太郎…四(二九〇)
「麓」集落に関する二・三の検討……………	押野昭生…四(三一六)
土佐藩における討幕運動の展開……………	池田敬正…五(三五三)
南部の再建とネグロ……………	山岸義夫…五(三七九)
銀差の成立をめぐって……………	岩見宏…五(四〇八)

支那の鉄について.....	宮崎	市	定	六(四四一)
六朝隋唐時代の報応信仰.....	山崎	宏	六(四五五)	
ヒマラヤ及びチベットにおける文化接触.....	川喜田	二郎	六(四七六)	
ルネサンス精神の動搖.....	永井	三	明六(五〇〇)	
洋学史に関する一考察.....	大月	明	六(五三〇)	
明治後期における実業教育の展開.....	時野	谷	勝六(五五三)	
友愛会の発展過程.....	松尾	尊	兪六(五七四)	
【批判と反省】	曾我部	静	雄二(一四二)	
均田法の園宅地について.....	樋口	隆	康二(一五四)	
【資料紹介】				
洛西広沢古墳発掘調査概報.....	森	鹿	三二(七一)	
宮崎市定著「九品官人法の研究―科挙前史」.....	矢守	一	彦一(七三)	
「地理学論文集―田中秀作教授古稀記念」.....	藤岡	謙	二(一五九)	
大阪市立大学難波宮址研究会編「難波宮址の研究」.....	渡辺	則	文二(一六一)	
河手龍海著「日本塩業史」.....	笹本	重	巳二(一六六)	
佐伯富著「清代塩政の研究」.....	堀内	一	徳二(一六九)	
H. Aubin: Stufen und Triebkräfte der abendländischen Wirtschaftsentwicklung im frühen Mittelalter.....	石田	善	人三(二五六)	
渡辺澄夫著「畿内庄園の基礎構造」.....				

オトレンバー著 藪内芳彦訳「一般工業地理学」	西	村	睦	男	三	(二六一)
小葉田淳編著「岡本村史」	黒	田	俊	雄	四	(三四六)
池田源太著「歴史の始源と口誦伝承」	上	田	正	昭	四	(三四八)
農村史料調査会著「新田地主の研究」	高	沢	裕	一	五	(四二七)
小沼勇著「日本漁村の構造類型」	島	田	正	彦	五	(四二九)
佐藤進一・池内義資編「中世法制史料集 第二卷室町幕府法」	田	中	直	稔	五	(四三二)
唐長孺著「魏晉南北朝史論叢」	狩	野	直	禎	六	(六〇二)
ハーツホーン著 野村正七訳「地理学方法論——地理学の性格」	山	澄	直	元	六	(六〇七)

【学界消息】

史学研究会関係(八二、一七四、四三五、六一〇)	地理学関係(八五、一七四、四三七、六一二)
国史関係(八二、一七四、四三五、六一〇)	考古学関係(八六、一七五、四三七、六一二)
東洋史関係(八四、一七四、四三六、六一〇)	京都大学卒業論文題目(二六三)
西洋史関係(八四、一七四、四三六)	